

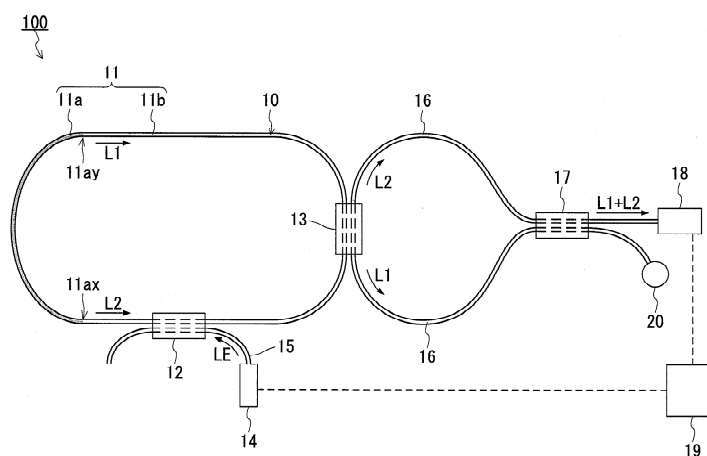
技術の名称

光ファイバジャイロ

適用分野

リングレーザジャイロ

- 目的 光ファイバジャイロで問題となっていたロックイン現象や多モード発振を回避して分解能が高い光ファイバジャイロを提供する。
- 効果 本発明によれば、周回回路の光学的な対象性を高めているので、分解能を高めることが出来、その結果、回転角速度が低い領域においても角速度を求めることができるようになる。
- 技術概要 半導体レーザ素子14からの励起光LEは、WDMカップラ12を介して周回光路10に伝播され、その周回光路10に設けられた光アンプ部11によって互いに逆方向に進行するレーザ光L1、L2となり、これらのレーザ光L1、L2は周回光路10から光カップラ13を介して光ファイバ16に取り出されてフォトダイオード18にてレーザ光L1、L2の周波数差が検出され、その周波数差から周回光路10の回転角速度がコントローラ19で演算されるよう、構成されており、レーザ光L1、L2の波長 λ におけるWDMカップラ12の挿入損失及び光カップラ13のそのいずれか一方が他方の0.5倍以上で2.0倍以下であることを特徴としている。
- 特記事項、図など



- 主たる提供特許 特許等の名称 : 光ファイバジャイロ
登録番号 :
出願番号 : 特願2008-215173 出願日 : 平成20年8月25日
公開番号 :
- 実施実績 有、 ○無 ■ 提供形態 ○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先

株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
TEL 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp